

フェイスア災害協力隊通信 -Vol.7-

◆ 今号のピックアップ ◆

震災時の帰宅行動

外出中、首都直下型地震発生した場合

引用元「内閣府ホームページ」

その① 首都圏で大地震が起きたときは...

身の安全の確保

頭とすき間を10cm

屋内では机の下、屋外ではかばん等で頭を保護、運転中は道路の左側に停車
駅周辺には近づかない

交通機関が停止している駅周辺は大混雑しているため、混乱は避ける

正確な情報の入手

ラジオ・テレビ・携帯電話等で正確な情報を把握

家族の安否の確認をするには

「171」「Web171」等

通話は繋がりにくい、各種災害伝言サービスやSNS等を活用



その② 首都圏で大地震が起きたときは...

安全な場所にとどまる

地震発生から少なくとも3日間程度は救助・救急活動が優先されるため、混乱した状態がしばらく続く。まずは職場や学校、一時滞在施設など、安全な場所にとどまる。

「安全に」「自力で」「歩いて」帰る

しばらく安全な場所にとどまった後、様々な方法で情報を集めて、「安全に」帰ることができるか確認できたら、帰宅を開始する。

ガラス等の落下に気を付ける

「災害時帰宅支援ステーション」のステッカーが貼ってある店舗などでは、水道水、トイレ、情報などを提供している。自分の体力を過信せず、休憩をとることも必要。

江東区の防災情報

～1つでも登録しておく～と便利～

【防災情報 江東区】 <https://www.city.koto.lg.jp/bousaitop/index.html>



【こうとう安全安心メール】 anshin.koto-city@raidan.ktaiwork.jp へ空メール送信



【江東区公式 LINE】 ID:@city_koto を「友だち追加」

【江東区 Facebook】 ID:@city_koto に「いいね!」

【江東区公式 Twitter】 @koto_bosai (江東区防災関連情報) を「フォロー」

【江東区防災マップ アプリ】 アプリをダウンロード



災害協力隊 隊員募集中!

隊員は無理のない範囲で参加、災害時も家族の安全を優先しながら活動します。ご興味のある方は管理人室へお問い合わせいただくか、メールでご連絡ください。

メールアドレス: facea-sk-office@mhmf.info



当マンションの防災ホームページ



メロディーハイム南砂町フェイスアの防災情報がまとめられています。日頃からご覧いただくと、災害時は余裕をもって対処できます。

<https://mhmf.info/>